

エステティック産業の現況と今後の課題

エステティックアドバイザー 辻 大作氏

エステティックサロンは近年「癒し」が求められるとともに、将来有望な産業として脚光を浴びてきた。エステティックサロンの中にはいかがわしいケースも散見されるが、それでも二一世紀の「ビューティ&ヘルス」の一翼を担う産業としての期待が大きいことも事実である。そこでエステティックアドバイザーの辻大作氏(バイオリンク販売社長)に「期待できるエステティックサロン産業」について懇意のないところを聞いてみた。

メリットとデメ
リットも同時に

②レーザー脱毛だけを扱う新規参入店は美容の知識がまったくないオーナー

③あまりにも出店が相次

以前からこの類いのサロンはあったのですが、思つ

たほど売上げにつながらな

いため(商品販売や継続役務契約がしつづけて)

者たちは「アーティスト

が淘汰される年

だからこそ、エステ未体験

閉店の憂き目にあいかねま

せん。そこで、せひやって

店するのであって、この中

から女性が本来もっている

者たちは「アーティスト

が淘汰